

## 取組概要

- 東海総合通信局は、令和8年9～10月に愛知県及び名古屋市を中心に開催される第20回アジア競技大会(2026/愛知・名古屋)及び愛知・名古屋2026アジアパラ競技大会の成功に向けて、大会組織委員会と連携して適切に対処する。
- 4月1日「愛知・名古屋アジア競技大会・アジアパラ競技大会支援室」を設置し、4月3日、東海総合通信局長を本部長とする「愛知・名古屋アジア競技大会・アジアパラ競技大会支援対策本部」を設置。
- 今後、大会で使用される無線局の周波数調整や許認可業務、大会関係の無線局や大会に関連して運用される重要無線通信などに対する電波監視業務を行うため、体制強化を図る。

## 大会概要

項目	アジア競技大会	アジアパラ競技大会
大会期間	R8/9/19(土)～10/4(日) 16日間	R8/10/18(日)～10/24(土) 7日間
競技数/ 競技会場	41競技/55会場(※) (東京オリンピックでは 33競技/42会場)	18競技/19会場(※) (東京パラリンピックで は22競技/21会場)
選手・チー ム役員	最大15,000人 (東京オリンピックでは 約18,000人)	3,600～4,000人 (東京パラリンピックで は4,403人)
参加国数	アジアの45の国・地域	



※仮決定

◀アジア競技大会 競技会場MAP  
(組織委員会HPより抜粋)

## 東海総合通信局の主な業務

- 周波数調整  
競技団体、海外放送事業者、運営者等が大会会場等で使用する無線局の周波数調整
- 無線局免許・検査  
大会会場等で使用される無線局の監督管理
- 電波監視  
大会会場及びその周辺における電波監視
- 組織委員会との連携協力  
大会組織委員会、関係機関等との情報共有及び協力体制の構築

